

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年5月12日

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

0.1.2歳児・・・季節の葉(蔞)に触れて感触を味わう

<テーマ設定理由>

・春ならではの季節の「蔞」の葉を使って、大きさ、匂い、葉などを感じる。茎を折ると汁がどんな色をしているのか観察する。

## 2.活動スケジュール

- ・少人数でじっくり葉に触れられるようにする。
- ・葉を揺らす、傘のように持ってみる、葉を頭に載せ大きな葉の感触を楽しめるようにする。
- ・茎から出る汁を使って、画用紙に書いたりする。

## 3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・蔞の葉
- ・画用紙
- ・ござ
- ・ベンチ2台

## 4.探究活動の実践

<活動内容>

- ・蔞の葉に興味を持って触ってみようとする子ども達に言葉をかける。
- ・葉の茎を持ち葉を振ったり、傘のように持ち頭の上に乗せてみる。
- ・葉をちぎったり、両手を使い茎を折ったり、準備してある画用紙に並べてみたり、こすると色が出る様子を観察する。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・蔞の葉を見て「大きいね」「傘みたい」と手にする。



・揺らしたり傘のように被る仕草をしているので「雨ふってきたかな?」と言葉をかけると葉っぱを頭に被せごっこ遊びが始まる。



・葉に穴が空いていることに気づき、保育士に「見てー」と覗き色々な景色をみていた。



・茎に触れていると、筋が出てきたことに気が付き、ちぎれるまで引っ張り感触を確かめていた。

・茎から出る汁に気づく子がいたので画用紙を用紙する。

## 5.振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・乳児の参加が多かったため、言葉を多く発することはなかったが、指先を使いながら葉を触ってみたり、葉を揺らし葉の動く様子をじっくり見ている姿が見られた。その表情を見ながら言葉を選んだり、言葉を引き出すタイミングが難しく思った。
- ・茎の折口から汁が出ること、その汁(灰汁)が茶色であることに気が付いて欲しく、動作で見せたり、実際に画用紙にこすり付けてやって見せるが、思ったより色が薄く残念に思った。事前に保育士が、どうなるのか経験し、子ども達に色々な発見ができるように導く環境が大事だと思った。次の活動では、この経験を生かしていきたい。